

# 平成17年度事業報告書

〔 平成17年4月 1日から  
平成18年3月31日まで 〕

## 目 次

I. 概 要 .....	2
II. 理 事 会 .....	3
III. 評 議 員 会 .....	5
IV. 主要事業活動 .....	7
1. 次世代人材育成事業 .....	8
(1) 理工系大学院生研究支援事業	
(2) 次世代経営者交流事業	
2. 日韓自動車関連産業育成強化事業 .....	10
(1) セミナー・商談会・展示会事業	
(a) セミナー・商談会	
(b) 技術者専門セミナー	
(c) 品質管理セミナー	
(2) 産業交流事業	
(a) 地域間交流事業（クラスター交流含む）	
① 産業技術交流促進ミッション	
② 地域間交流支援	
(b) 先進技術交流事業	
(3) 成果普及事業	
3. 調査・広報事業 .....	17
(1) 委託調査	
(a) 日韓国交正常化40周年記念関連	
(b) 日韓 FTA 関連事項	
(c) 産業交流事業ニーズ調査	
(d) ソウルジャパンクラブ(SJC)経営研究会支援	
(e) 日韓部品素材分野データベース作成	
(2) 財団ホームページ充実化・パンフレット作成	
V. 日韓両財団「連絡協議会」及び「連絡協議会幹事会」の開催 .....	19
VI. 事務局人事 .....	22
VII. 財団日誌 .....	23

## I. 概 要

当財団が設立後、事業を開始して以来 13 年が経過した。これまで日本政府、及び関係経済団体のご協力と日本側企業の多大なご支援により、韓国の中堅・中小企業の経営他多くの分野に於いて事業の成果が上がってきている。この 13 年間で当財団の研修・研究事業、セミナー等を受講した韓国人の人数は約 5,100 名、また生産性向上協力事業等を実施した韓国の対象企業数は約 630 社になる。

財団活動に対しては、年を重ねる毎に、改めてその役割が認識され、今後の活動も期待されている。日韓両国政府や、関係者から良い評価を頂き、また事業に参加した韓国企業の社員やセミナーの受講者からも、講師・専門家の助言や、指導内容が大変有益であったと感謝されている。

これまでも度々言われて来たことであるが、韓国経済を下支えとなるべきいわゆる部品・素材産業の成長が未だ十分でない状況下、資本財、部品等の供給の大半を日本や米国に依存せざるを得ない経済環境と産業構造は大きく変わっていない。そのため、対日貿易赤字は依然として減少しておらず、むしろ増加の傾向にあり、引続き韓国の中堅・中小製造業への更なる育成・強化が必要とされている。

平成 17 年度は、基本財産の運用益の外に、政府からの拠出金 2.48 億円（外務省 0.54 億円、経済産業省 1.94 億円）を得て運営並びに事業を実施した。

1. 当年度中、理事会 3 回、評議員会 4 回を開催し、財団運営の重要事項について審議、議決を行った。
2. 平成 16 年度第 4 回理事会で承認された平成 17 年度事業計画に従い下記事業を実施した。
 

(1) 次世代人材育成事業	.....	2 事業
(2) 日韓自動車関連産業育成強化事業	.....	7 事業
(3) 調査・広報事業	.....	3 事業
3. 日韓両財団の共同事業  
次世代経営者交流、セミナー・商談会・展示会、技術者専門セミナー〔KITA〕、品質管理セミナー、産業技術交流促進ミッション、先進技術交流、成果普及、日韓部品素材分野データベース作成の 8 事業を実施した。
4. (1) 日韓両財団第 12 回連絡協議会を平成 17 年(2005 年)4 月 15 日ソウルにて開催した。  
(2) 日韓両財団第 13 回連絡協議会幹事会を平成 17 年(2005 年)6 月 28 日東京にて開催した。  
(3) 日韓両財団第 13 回連絡協議会幹事会実務者会議を平成 17 年(2005 年)10 月 21 日ソウルにて開催した。

以上が、平成 17 年度の事業及び諸会議の概要である。

## Ⅱ. 理 事 会

今年度は3回の理事会を開催、瀬戸雄三理事長（アサヒビール株式会社相談役）の議長のもとに議題を審議し、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく可決承認された。各理事会の概要は以下のとおりである。

### 1. 平成17年度第1回理事会

平成17年6月21日（火） 午後3時00分～3時30分

当財団会議室

出席者 21名（内訳：理事本人 4名、書面表決 5名、表決委任 12名）

欠席者 3名

〔理事総数 24名〕

〔議 題〕

決議事項

第1号議案 平成16年度事業報告(案)承認の件

第2号議案 平成16年度収支決算報告(案)承認の件

第3号議案 評議員選出承認の件

### 2. 平成17年度第2回理事会

平成17年7月13日（水） 午後3時30分～4時00分

当財団会議室

出席者 19名（内訳：理事本人 4名、書面表決 10名、表決委任 5名）

欠席者 5名

〔理事総数 24名〕

〔議 題〕

決議事項

第1号議案 平成17年度事業計画一部変更の件

### 3. 平成17年度第3回理事会

平成18年3月24日（金） 午後3時30分～4時00分

当財団会議室

出席者 21名（内訳：理事本人 6名、書面表決 8名、表決委任 7名）

欠席者 3名

〔理事総数 24名〕

〔議 題〕

決議事項

第1号議案 平成18年度事業計画(案)承認の件

第2号議案 平成18年度収支予算(案)承認の件

第3号議案 副理事長互選(案)の件

報告事項

①財団基本財産運用の件

以 上

### Ⅲ. 評 議 員 会

今年度は4回の評議員会を開催、互選の結果、下出道雄評議員（社団法人日韓経済協会常務理事）が議長となって議題を審議し、表決が必要な事項については、すべて原案どおり異議なく承認された。各評議員会の概要は以下のとおりである。

#### 1. 平成17年度第1回評議員会

平成17年6月21日（火） 午後3時30分～4時00分

当財団会議室

出席者 19名 （内訳：評議員本人 3名、書面表決 9名、表決委任 7名）

欠席者 0名

〔評議員総数 19名〕

〔決議事項〕

第1号議案 理事選任承認の件

〔報告事項〕

① 平成16年度事業報告について

② 平成16年度収支決算報告について

#### 2. 平成17年度第2回評議員会

平成17年7月13日（水） 午後3時00分～3時30分

当財団会議室

出席者 17名 （内訳：評議員本人 3名、表決委任 14名）

欠席者 2名

〔評議員総数 19名〕

〔審議事項〕

①平成17年度事業計画一部変更について

#### 3. 平成17年度第3回評議員会

平成17年11月28日（月） 午後3時00分～3時30分

当財団会議室

出席者 16名 （内訳：評議員本人 3名、書面表決 10名、表決委任 3名）

欠席者 3名

〔評議員総数 19名〕

[決議事項]

第1号議案 理事選任承認の件

#### 4. 平成17年度第4回評議員会

平成18年3月24日(金) 午後3時00分～3時30分

当財団会議室

出席者 17名 (内訳:評議員本人 3名、書面表決 9名、表決委任 5名)

欠席者 2名

[評議員総数 19名]

[決議事項]

第1号議案 理事選任承認の件

[審議事項]

①平成18年度事業計画(案)の件

②平成18年度収支予算(案)の件

[報告事項]

①財団基本財産運用の件

以上

## IV. 主要事業活動

平成17年3月23日の理事会及び評議員会で承認された事業計画に従い下記事業を実施した。(主な事業の詳細は8頁以下参照)

【共同】：韓日財団との共同事業

1. 次世代人材育成事業
  - (1) 理工系大学院生研究支援事業
  - (2) 次世代経営者交流事業 【共同】
  
2. 日韓自動車関連産業育成強化事業
  - (1) セミナー・商談会・展示会事業 【共同】
    - (ア) セミナー・商談会
    - (イ) 技術者専門セミナー
    - (ウ) 品質管理セミナー
  - (2) 産業交流事業
    - (ア) 地域間交流事業(クラスター交流含む)
      - ① 産業技術交流促進ミッション 【共同】
      - ② 地域間交流支援
    - (イ) 先進技術交流事業 【共同】
  - (3) 成果普及事業 【共同】
  
3. 調査・広報事業
  - (1) 委託調査
    - (ア) 日韓国交正常化40周年記念関連
    - (イ) 日韓FTA 関連事項
    - (ウ) 産業交流事業ニーズ調査
    - (エ) ソウルジャパンクラブ(SJC)経営研究会支援
    - (オ) 日韓部品素材分野データベース作成 【共同】
  - (2) 財団ホームページ充実化・パンフレット作成



## 1. 次世代人材育成事

事業名	(1) 理工系大学院生研究支援
事業内容	<p>韓国の理工系大学院生（博士／修士課程在籍者）を冬休みを利用して40日間日本へ招聘し、つくば近辺の独立行政法人の各研究機関等で専門分野に関する共同研究を行う。</p> <p>(1) 人数：20名 (2) 期間：40日 (3) 内容：各研究機関との共同研究</p>
実施状況	<p>1. 概要 理工系大学院生20名(内女性5名)が2006年1月10日(火)来日、2月18日(土)帰国するまでの40日間、つくば地区及び東京地区等において、専門分野の共同研究活動を行う。</p> <p>2. 受入研究機関：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・物質・材料研究機構（つくば） 6名</li> <li>・国立環境研究所（つくば） 2名</li> <li>・産業技術総合研究所（つくば） 10名</li> <li>・情報通信研究機構（埼玉） 1名</li> <li>・国土交通省気象研究所（つくば） 1名</li> </ul> <p style="text-align: right;">(計) 5機関、20名</p> </p> <p>3. 特記：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・年初は昨年同様に韓国科学財団(KOSEF)との共同事業として計画したが、韓国側の組織ほか変更に伴い予算の確保が出来ていないことが判明し、急遽、当財団単独事業として企画を変更(人数：従来40名→20名、期間：従来45日→40日)して実施した。</li> <li>・応募者(63名)の中から KOSEF にて1次選定30名を日本側に推薦し、当財団及び(社)科学技術国際交流センター(JISTEC)にて最終選定(各研究機関とのマッチング作業)を行い、参加予定人員20名を仮決定。その後、KOSEF 及び参加本人に最終確認後、参加者20名を最終確定する。</li> <li>・事前説明会を11月25日、韓国大田市にて開催し、日本研究期間中の諸注意事項及び前年度との相違事項(昨年度は KOSEF との共同事業)等に関して説明を行った。</li> </ul> </p> <p>4. 成果等：  <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回で13回目を迎えた当プログラムは、日韓の研究交流・友好親善を図る良いプログラムとして両国で知られ、既に共同研究等で交流のある研究者がこれを利用して学生を送ったり、この機会を利用して参加学生の指導教官がホスト研究所を訪問して継続的な交流に発展するなど、日韓両国研究者間のネットワークづくりに繋がっている。</li> <li>・今回も当事業への応募者数は63名を数え、3倍強の競争率で選抜されて来ている。参加者の多くが明確な目的をもってプログラムに参加し、新しい技術・知識の習得を図り研究活動の成果を出している。また、ホスト研究者からもその実力について高い評価を頂いている。</li> <li>・ホスト研究所から、参加研究生は非常に優秀である、まじめである等の好評価を頂いており、期末の多忙な時期にもかかわらず、研究生を積極的に受け入れる研究所が増えている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(社)科学技術国際交流センター(JISTEC)に業務委託</p> </p>

## 1. 次世代人材育成事業

事業名	(2) 次世代経営者交流事業 <span style="float: right;">【共同事業】</span>
事業内容	日韓両国の産業界、経済界等、各界の若手経営者を相互に招聘し、テーマを決めた全体交流、各界個別の交流、文化交流などを行い、現状認識・相互理解・国際交流を深めると共に、次世代の日韓関係を担う経営者の育成を図ることを目的とした事業。
実施状況	<p>1. 対象人数等 日本及び韓国の各界次世代経営者（30～40才代の若手経営者）を対象とし、日本からは16名が訪韓、韓国からは18名が来日した。（団長・事務局含む）</p> <p>2. 実施時期  (1) 第6回次世代経営者交流訪日団受入：2005年7月10日（日）～16日（土）  (2) 第6回次世代経営者交流訪韓団派遣：2005年12月4日（日）～10日（土）</p> <p>3. 概要及び成果  (1) 第6回次世代経営者交流訪日団受入  ①外務省・韓国大使館等の政府関係先の訪問・懇談を始め、工場見学では大田区産業振興機構及び大田区中小企業2社の見学、前川製作所(株)及びアサヒビール(株)茨城工場を訪問し、高齢者対応・産業廃棄物対応等、時代に即した内容での工場見学を行った。また東京青年会議所の協力を得て、会議所若手リーダーとの合同討議及び懇親会を開催した。  ②スケジュールの後半は名古屋へ移動し、開催中の愛知万博の見学及びトヨタ自動車堤工場の見学、浜松の沢根スプリング(株)を訪問して沢根社長にご講演を頂く等、もり沢山の内容であった。</p> <p>(2) 第6回次世代経営者交流訪韓団派遣  ①外交通商部・産業資源部・日本大使館等の政府関係先の訪問・懇談を始め、韓国が誇る三星電子・浦項綜合製鉄所の見学、産業団地公団及び団地へ入居しているIT関連中小企業2社の訪問・見学を行った。また講演では、ジェトロソウルセンター長による韓国進出日本企業に関する内容、特に日本と韓国との違い等についてのお話を伺い理解を深めた。  ②スケジュールの後半は釜山市へ移動し、三星ルノー社の見学と中小企業である東和エンテック社を訪問した。特に東和エンテック社では金会長・洪社長以下幹部による会社の営業方針ほか貴重なお話を頂くことが出来た。</p> <p style="text-align: right;">訪日団受入のみ (株)イズワークスに事務局業務委託</p>

## 2. 日韓自動車関連産業育成強化事業

事業名	(1) セミナー・商談会・展示会事業 (a) セミナー・商談会 <span style="float: right;">【共同事業】</span>																																																																																								
事業内容	<p>両国の中小企業の連携による相互補完の関係、「ウィン・ウィン」の関係構築を目的とし、一層の活性化を促す為、日韓両国の財団及び経済協会、更には日本貿易振興機構、大韓貿易投資振興公社の6団体共催で第4回セミナー・商談会を東京で、第5回セミナー・商談会をソウルで実施した。</p>																																																																																								
実施状況	<p>I. 第4回 セミナー・商談会 開催概要 (訪日、東京)</p> <p>1) 日程・場所：平成17年5月16日～18日、東京品川プリンスホテル</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">5月16日</td> <td style="width: 35%;">14:00～20:00</td> <td style="width: 50%;">大田区優良企業視察、歓迎晩餐会</td> </tr> <tr> <td>5月17日</td> <td>10:00～17:00</td> <td>商談会</td> </tr> <tr> <td>5月18日</td> <td>10:00～17:00</td> <td>セミナー(3テーマ)・展示会(ビッグサイト)</td> </tr> </table> <p>2) 商談会：韓国企業18社、日本企業47社の合計65社の参加があった。合計108件の商談が実施され、8月末時点で合計11件の商談が継続中。商談1件が成立。(輸出関連)。</p> <p>3) セミナー：韓国企業14名及び日本企業、関係者合計42名が参加した。</p> <p>テーマ・講師</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 45%;">1. 「ピンチをチャンスにする経営革新」</td> <td style="width: 10%;">(株) サヤカ</td> <td style="width: 10%;">代表取締役</td> <td style="width: 35%;">猿渡盛之氏</td> </tr> <tr> <td>2. 「韓日間ビジネス、相互Win-Winへの方策」</td> <td>(株) 東和Entec</td> <td>会長</td> <td>金江熙氏</td> </tr> <tr> <td>3. 「明日を拓く先端経常加工技術」</td> <td>理化学研究所</td> <td>工学博士</td> <td>安斎正博氏</td> </tr> </table> <p>II. 第5回 セミナー・商談会 開催概要 (訪韓、ソウル)</p> <p>1) 日程・場所：平成17年10月27日～28日、ソウルロッテホテル</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">10月27日</td> <td style="width: 35%;">10:00～17:00</td> <td style="width: 50%;">商談会(日本企業14社が訪韓)</td> </tr> <tr> <td>10月28日</td> <td>10:00～17:00</td> <td>セミナー(4テーマ)</td> </tr> </table> <p>2) 商談会：日本企業14社、韓国企業59社の合計73社の参加があった。合計で113件の商談が実施され、1月末時点で合計25件の商談が継続中。</p> <p style="text-align: center;">表 日本側参加企業の一覧</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 45%;">企業名</th> <th style="width: 40%;">事業概要</th> <th style="width: 15%;">従業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(株) サンキ</td> <td>レーザー・プレス切断・曲げ・溶接の小物板金製品</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>(有) アドスクエア</td> <td>精密金型部品、精密自動車部品</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>(株) ノア</td> <td>切削工具の輸入</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>小津産業(株)</td> <td>不織布リバー “Bemcot” シリーズ</td> <td>127人</td> </tr> <tr> <td>BOGO JAPAN</td> <td>半導体、LCD、LED、一般電子部品</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>(株) 竹村製作所</td> <td>水道凍結防止機器、水道メーター着脱機器</td> <td>225人</td> </tr> <tr> <td>マグネクス(株)</td> <td>産業用磁気ヘッド、電波吸収シート、切削部品</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>柴田国際税務事務所</td> <td>戦略税務、会計、通関、法務、VISA</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>オヂヤセイキ(株)</td> <td>総合ゲージ</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>アストロデザイン(株)</td> <td>ビデオカメラジェネレーター(VGシリーズ)</td> <td>155人</td> </tr> <tr> <td>太平洋エンジニアリング(株)</td> <td>粉体関連機器、建材商品、自動車関連部品</td> <td>180人</td> </tr> <tr> <td>フルタ電機(株)</td> <td>モーター、プラスチック加工部品、金属加工部品</td> <td>186人</td> </tr> <tr> <td>(株) 五光物産</td> <td>グリストラップ浄化システム(油水分離)</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>(株) メックス</td> <td>オイルポンプ、ウォーターポンプ、ラック&amp;ピニオン、スプリングギア</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table> <p>3) セミナー：韓国企業104名、関係機関21名の合計125名が参加した。</p> <p>テーマ・講師</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 45%;">導入講演「日本的経営を超える京様式経営」</td> <td style="width: 10%;">サムソン経済研究所</td> <td style="width: 10%;">主席研究員</td> <td style="width: 35%;">梁峻豪氏</td> </tr> <tr> <td>基調講演「Only-One 京都ナック衝撃」</td> <td>日刊工業新聞社</td> <td>大阪支社編集局長</td> <td>八田邦夫氏</td> </tr> <tr> <td>事例講演(I)「京様式経営ものづくり哲学」</td> <td>サムコ(株)</td> <td>代表取締役社長</td> <td>辻理氏</td> </tr> <tr> <td>事例講演(II)「京様式とオムロン経営」</td> <td>オムロン(株)</td> <td>前取締役副社長</td> <td>市原達朗氏</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(株) ジェービスに事務局業務委託</p>	5月16日	14:00～20:00	大田区優良企業視察、歓迎晩餐会	5月17日	10:00～17:00	商談会	5月18日	10:00～17:00	セミナー(3テーマ)・展示会(ビッグサイト)	1. 「ピンチをチャンスにする経営革新」	(株) サヤカ	代表取締役	猿渡盛之氏	2. 「韓日間ビジネス、相互Win-Winへの方策」	(株) 東和Entec	会長	金江熙氏	3. 「明日を拓く先端経常加工技術」	理化学研究所	工学博士	安斎正博氏	10月27日	10:00～17:00	商談会(日本企業14社が訪韓)	10月28日	10:00～17:00	セミナー(4テーマ)	企業名	事業概要	従業員	(株) サンキ	レーザー・プレス切断・曲げ・溶接の小物板金製品	27人	(有) アドスクエア	精密金型部品、精密自動車部品	20人	(株) ノア	切削工具の輸入	20人	小津産業(株)	不織布リバー “Bemcot” シリーズ	127人	BOGO JAPAN	半導体、LCD、LED、一般電子部品	2人	(株) 竹村製作所	水道凍結防止機器、水道メーター着脱機器	225人	マグネクス(株)	産業用磁気ヘッド、電波吸収シート、切削部品	20人	柴田国際税務事務所	戦略税務、会計、通関、法務、VISA	3人	オヂヤセイキ(株)	総合ゲージ	80人	アストロデザイン(株)	ビデオカメラジェネレーター(VGシリーズ)	155人	太平洋エンジニアリング(株)	粉体関連機器、建材商品、自動車関連部品	180人	フルタ電機(株)	モーター、プラスチック加工部品、金属加工部品	186人	(株) 五光物産	グリストラップ浄化システム(油水分離)	30人	(株) メックス	オイルポンプ、ウォーターポンプ、ラック&ピニオン、スプリングギア	6人	導入講演「日本的経営を超える京様式経営」	サムソン経済研究所	主席研究員	梁峻豪氏	基調講演「Only-One 京都ナック衝撃」	日刊工業新聞社	大阪支社編集局長	八田邦夫氏	事例講演(I)「京様式経営ものづくり哲学」	サムコ(株)	代表取締役社長	辻理氏	事例講演(II)「京様式とオムロン経営」	オムロン(株)	前取締役副社長	市原達朗氏
5月16日	14:00～20:00	大田区優良企業視察、歓迎晩餐会																																																																																							
5月17日	10:00～17:00	商談会																																																																																							
5月18日	10:00～17:00	セミナー(3テーマ)・展示会(ビッグサイト)																																																																																							
1. 「ピンチをチャンスにする経営革新」	(株) サヤカ	代表取締役	猿渡盛之氏																																																																																						
2. 「韓日間ビジネス、相互Win-Winへの方策」	(株) 東和Entec	会長	金江熙氏																																																																																						
3. 「明日を拓く先端経常加工技術」	理化学研究所	工学博士	安斎正博氏																																																																																						
10月27日	10:00～17:00	商談会(日本企業14社が訪韓)																																																																																							
10月28日	10:00～17:00	セミナー(4テーマ)																																																																																							
企業名	事業概要	従業員																																																																																							
(株) サンキ	レーザー・プレス切断・曲げ・溶接の小物板金製品	27人																																																																																							
(有) アドスクエア	精密金型部品、精密自動車部品	20人																																																																																							
(株) ノア	切削工具の輸入	20人																																																																																							
小津産業(株)	不織布リバー “Bemcot” シリーズ	127人																																																																																							
BOGO JAPAN	半導体、LCD、LED、一般電子部品	2人																																																																																							
(株) 竹村製作所	水道凍結防止機器、水道メーター着脱機器	225人																																																																																							
マグネクス(株)	産業用磁気ヘッド、電波吸収シート、切削部品	20人																																																																																							
柴田国際税務事務所	戦略税務、会計、通関、法務、VISA	3人																																																																																							
オヂヤセイキ(株)	総合ゲージ	80人																																																																																							
アストロデザイン(株)	ビデオカメラジェネレーター(VGシリーズ)	155人																																																																																							
太平洋エンジニアリング(株)	粉体関連機器、建材商品、自動車関連部品	180人																																																																																							
フルタ電機(株)	モーター、プラスチック加工部品、金属加工部品	186人																																																																																							
(株) 五光物産	グリストラップ浄化システム(油水分離)	30人																																																																																							
(株) メックス	オイルポンプ、ウォーターポンプ、ラック&ピニオン、スプリングギア	6人																																																																																							
導入講演「日本的経営を超える京様式経営」	サムソン経済研究所	主席研究員	梁峻豪氏																																																																																						
基調講演「Only-One 京都ナック衝撃」	日刊工業新聞社	大阪支社編集局長	八田邦夫氏																																																																																						
事例講演(I)「京様式経営ものづくり哲学」	サムコ(株)	代表取締役社長	辻理氏																																																																																						
事例講演(II)「京様式とオムロン経営」	オムロン(株)	前取締役副社長	市原達朗氏																																																																																						



## 2. 日韓自動車関連産業育成強化事業

事業名	(1) セミナー・商談会・展示会事業 (c) 品質管理セミナー <span style="float: right;">【共同事業】</span>
事業内容	<p>韓国中堅・中小企業の中堅技術者を受入れ、品質管理に関するセミナーを実施。</p> <p>(1) 対象：中堅・中小企業の中堅技術者30名</p> <p>(2) 期間：2週間</p> <p>(3) 内容：座学とグループディスカッションを主体に基礎から実際編迄体系付けたセミナーを実施</p> <p>①日本のTQM ③原価管理、方針管理、日常管理、コストダウン演習</p> <p>②IE、QFD、品質保証、ISO9000 ④グループディスカッション等</p>
実施状況	<p>1. 期間・場所 2005年6月19日(日)来日、7月2日(土)帰国する迄の2週間、大磯プリンスホテル(神奈川県中郡大磯町)において実施。</p> <p>2. 参加者(最終参加者 29名) 中堅・中小企業の品質管理・生産管理担当次長・課長クラス(年齢 29～46歳)</p> <p>3. セミナー内容 (1) セミナー科目： 日本のTQM、機能別管理・受注生産における現場管理、IEの活用/演習、職場の管理と改善、新QC七つ道具、生産の品質保証、工場における現場管理/演習、管理と改善、日常管理、方針管理、原価管理/コストダウン演習、ISO 9000、品質保証とPL、新製品開発のためのQFD/演習他 また、講義内容をより理解するために、夕刻の時間を利用したグループディスカッション及び各種演習を実施(計8回)</p> <p>(2) 工場見学：①(株)三和電機製作所(中小企業における品質管理と作業標準化) ②(株)オーバル横浜工場(受注生産における現場管理)</p> <p>4. 特記事項 ・主任講師は例年通り日本科学技術連盟嘱託の高須久先生に委嘱した。日程の作成からご指導を得て、また昨年度の評価書を参考にしながら準備を進め、講義と見学のバランスが取れたカリキュラムを作成し、昨年以上のものを準備することが出来た。 ・期間が2週間と短期間であるため、夕刻のセミナーを大幅に増やし、グループディスカッション、演習等、自らが主体となって体験できる内容とした。 ・通訳は韓日財団嘱託の李在熙氏に依頼したが、2回目の品質管理セミナー通訳であり、熱心で受講生からは大変信頼されて業務を行うことが出来た。</p> <p>5. 成果概要等 受講生からは、「全てが良く計画されたセミナーだったと思います。主任講師の高須先生を始め、機会を与えて頂いた日韓・韓日財団、実務担当のスリーエーネットワーク、通訳李さんに深く感謝します。今度のセミナーは韓国の企業に大いに役に立つと思うし、日本を知る良い機会だったと思います」等の言葉を頂いている。</p> <p style="text-align: right;">(株)スリーエーネットワークに事務局業務委託</p>

## 2. 日韓自動車関連産業育成強化事業

事業名	(2) 産業交流事業 (a) 地域間交流事業 ①産業技術交流促進ミッション【共同事業】		
事業内容	<p>韓国中堅・中小企業の経営者30名を日本に招聘し、日本の中堅・中小企業の工場見学を中心に産業技術交流を実施。</p> <p>(1)対象：韓国中堅・中小企業の経営者クラス 30名  (2)期間：4泊5日  (3)内容：①工場見学（機械系と電機系のグループ別及び合同にて4工場・1施設を見学）  ②日韓中堅・中小企業経営者交流会、③展示会见学、④セミナー 等</p>		
実施状況	1. 内容		
	2005年度 (第19回)		
	期間 (来日～帰国)	05年9月26日 (月) ～30日 (金)	
	場所	福井/兵庫/大阪	
	ミッションメンバー	30名	
	協力	近畿経済産業局・福井県・大阪府・兵庫県・福井商工会議所 大阪産業振興機構 (クリエイション・コア東大阪)	
	内容	<p>工場見学</p> <p>機械・自動車グループ  ・(株)松浦機械製作所  ・(協)産研協 嶋本ダイカスト(株)、樋口鋼業(株)  ・フジ次(株) : 合同見学  ・東大阪クリエイション : 合同見学</p>	<p>電気・電子グループ  ・清川メッキ工業(株)  ・三菱電機(株)神戸製作所  ・フジ次(株) : 合同見学  ・東大阪クリエイション : 合同見学</p>
	展示会见学及び出展	<p>第1回クリコアフェア  展示会参加日本企業 (約100社) との密談及び展示会場内に韓国企業コーナーを設置、10社交代でカタログ展示を実施した  於：クリエイション・コア東大阪</p>	
セミナー	<p>・講師 (株)秀峰 代表取締役 村岡 貢治 氏  テーマ：「どん底人生」(素人でもちょっとしたアイデアで)  於：福井ワシントンホテル 3F 「天山2」の間  ・講師 クリエイション・コア東大阪  ゼネラルマネージャー 湖中 齊 氏  テーマ：「中小企業の連携とクリエイション・コア」  於：クリエイション・コア東大阪 南館</p>		
企業懇親会	<p>クリコアフェア参加日本企業との懇親会に特別参加  日本企業・クリエイション・コア関係者約150名が参加  於：クリエイション・コア東大阪 南館</p>		
福井県プレゼン	<p>「福井県の観光・投資環境について」のプレゼンを受ける  講師：福井県産業労働部企業立地マーケット戦略課  企画主任 藤井 昌和 様  於：福井ワシントンホテル 3F 「天山3」の間</p>		
<p>2. 成果概要等</p> <p>日韓地域間交流促進という両国政府方針に沿って、訪問地を主として「地方」にするとともに訪問地の経済産業局はじめ官公庁経済団体のご協力をいただいて実施しており、その全面のご支援のお陰で、本事業はより一層充実した内容になってきている。1週間の中に大勢の関係者を整齐と動かす必要があり、準備は大変であるが、ミッションメンバーからは「周到に準備・手配がなされており感心した」とのコメントを毎回得ている。本ミッション受け入れ事業は、日韓友好促進と日韓地域間交流促進に役立っている。</p> <p style="text-align: right;">(株)イズワークスに事務局業務委託</p>			

## 2. 日韓自動車関連産業育成強化事業

事業名	<p>(2) 産業交流事業 (a) 地域間交流事業 ② 地域間交流支援</p> <p>①九州・韓国経済交流会議関連事業支援</p> <p>②北陸・韓国経済交流会議関連事業支援</p> <p>③島根県・韓国 IT 企業ビジネスマッチング事業支援</p>
事業内容	<p>日韓両国地域間の貿易、投資及び産業技術分野における協力の促進と地域間経済交流の拡大を目的に実施。当財団は以下実施状況に示す事業に参加するとともに、事業経費の一部を支援。</p> <p>①「九州・韓国経済交流会議」は、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、1993年度より定期的に開催。</p> <p>②「北陸・韓国経済交流会議」は、両国政府、地方自治体、民間団体を中心に、2000年度より定期的に開催。</p> <p>③「島根県・韓国 IT 企業ビジネスマッチング」は、島根県、松江市、民間団体を中心に、松江市の「ソフトビジネスパーク島根」に韓国 IT 企業を誘致する目的で2005年度より実施。</p>
実施状況	<p>①九州・韓国経済交流会議関連事業</p> <p>1. 第12回九州・韓国経済交流会議</p> <p>(1) 実施期間 : 2005年10月11日～10月14日</p> <p>(2) 実施場所 : 韓国忠清北道堤川市 清風レークホテル</p> <p>(3) 主要行事 : ・九州・韓国経済交流会議 ・九州・韓国貿易促進セミナー ・韓国投資環境説明会</p> <p>(4) 参加人数 : 約80名</p> <p>2. 第8回九州・韓国産業技術交流ミッション</p> <p>(1) 実施期間 : 2006年2月8日～10日</p> <p>(2) 実施場所 : 韓国ソウル特別市 COEX ビル他</p> <p>(3) 主要行事 : ・産業資源部訪問、産業施設・企業視察 ・講演会、韓国企業との商談会・情報交換会 ・「セミコンコリア2006」(於 COEX) 視察</p> <p>(4) 参加人数 : 21名</p> <p>②北陸・韓国経済交流会議関連事業</p> <p>1. 第6回北陸・韓国経済交流会議</p> <p>(1) 実施期間 : 2005年7月19日～7月21日</p> <p>(2) 実施場所 : 韓国慶尚北道慶州市 ホテル現代</p> <p>(3) 主要行事 : ・官民合同会議 ・韓国投資環境説明会、北陸ビジネスチャンスセミナー、商談会 ・産業施設・企業視察</p> <p>(4) 参加人数 : 179名</p> <p>③島根県・韓国IT企業ビジネスマッチング事業</p> <p>1. 島根県・韓国 IT 関連企業との商談会</p> <p>(1) 実施期間 : 2006年2月19日～2月21日</p> <p>(2) 実施場所 : 島根県松江市 テクノアークしまね</p> <p>(3) 主要行事 : ・島根県知事訪問 ・講演会、韓国企業プレゼンテーション、商談会 ・IT 関連企業視察</p> <p>(4) 参加人数 : 約70名</p>

## 2. 日韓自動車関連産業育成強化事業

事業名	(2) 産業交流事業 (b) 先進技術交流事業 <span style="float: right;">【共同事業】</span>																																																																							
事業内容	韓国企業の中堅技術者が、日本の企業において、技術又は経営上の課題をテーマにした技術実習を行うとともに、企業交流を行う。																																																																							
実 施 状 況	<p>1. 期間及び人数 2005年8月22日～11月12日（83日間）、30名参加</p> <p>2. 内容</p> <p>(1) 導入教育 企業実習及び実習中の日常生活の円滑化を図るために行うもので、日本入国前5週間の日本語教育、日本入国後1週間の日本の文化・習慣等についての教育を実施した。</p> <p>(2) 企業実習 派遣及び受入企業、中堅技術者のそれぞれにメリットと成果が出るように、予め実習テーマとスケジュールを設定し、約2.5か月間の企業実習を行った。</p> <p>3. 技術者派遣韓国企業（30社）及び受入日本企業（28社）</p>																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>&lt;派遣企業&gt;</th> <th>&lt;受入企業&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(1) 韓国教育放送公社</td><td>(株) 東通</td></tr> <tr><td>(2) (株) WAYTEC</td><td>大同精工 (株)</td></tr> <tr><td>(3) 大邱文化放送 (株)</td><td>(株) コーズミュージック</td></tr> <tr><td>(4) 大同HI-LEX (株)</td><td>(株) ミキサーズ・ラボ</td></tr> <tr><td>(5) 東京エレクトロソコリア (株)</td><td>日本ケーブル・システム (株)</td></tr> <tr><td>(6) 東亜重工業 (株)</td><td>東京エレクトロン (株)</td></tr> <tr><td>(7) 東西石油化学 (株)</td><td>ナブテスコ (株)</td></tr> <tr><td>(8) 東亜製薬 (株)</td><td>旭化成ケミカルズ (株)</td></tr> <tr><td>(9) (株) 東亜Entec</td><td>明徳薬 (株)</td></tr> <tr><td>(10) 三和電子工業 (株)</td><td>三菱重工業 (株)</td></tr> <tr><td>(11) 世元BKT (株)</td><td>日立金属 (株)</td></tr> <tr><td>(12) 愛敬化学 (株)</td><td>油研工業 (株)</td></tr> <tr><td>(13) 又永産業 (株)</td><td>ディーエイチ・マテリアル (株)</td></tr> <tr><td>(14) (株) 宇進機電</td><td>片山工業 (株)</td></tr> <tr><td>(15) (株) 宇進機電</td><td>(株) 東芝</td></tr> <tr><td></td><td>(株) 東芝</td></tr> </tbody> </table>	<派遣企業>	<受入企業>	(1) 韓国教育放送公社	(株) 東通	(2) (株) WAYTEC	大同精工 (株)	(3) 大邱文化放送 (株)	(株) コーズミュージック	(4) 大同HI-LEX (株)	(株) ミキサーズ・ラボ	(5) 東京エレクトロソコリア (株)	日本ケーブル・システム (株)	(6) 東亜重工業 (株)	東京エレクトロン (株)	(7) 東西石油化学 (株)	ナブテスコ (株)	(8) 東亜製薬 (株)	旭化成ケミカルズ (株)	(9) (株) 東亜Entec	明徳薬 (株)	(10) 三和電子工業 (株)	三菱重工業 (株)	(11) 世元BKT (株)	日立金属 (株)	(12) 愛敬化学 (株)	油研工業 (株)	(13) 又永産業 (株)	ディーエイチ・マテリアル (株)	(14) (株) 宇進機電	片山工業 (株)	(15) (株) 宇進機電	(株) 東芝		(株) 東芝	<table border="1"> <thead> <tr> <th>&lt;派遣企業&gt;</th> <th>&lt;受入企業&gt;</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>(16) 中央MBB (株)</td><td>(株) 講登社</td></tr> <tr><td>(17) 韓国OMRON電装 (株)</td><td>オムロン飯田 (株)</td></tr> <tr><td>(18) 韓国大塚製薬 (株)</td><td>大塚製薬 (株)</td></tr> <tr><td>(19) 韓国YOKOGAWA電機 (株)</td><td>横河電機 (株)</td></tr> <tr><td>(20) 韓国技術 (株)</td><td>立公モールド工業 (株)</td></tr> <tr><td>(21) 韓-金属工業 (株)</td><td>(株) 川島研究所</td></tr> <tr><td>(22) ABD電子天秤 (株)</td><td>パーカー熱処理工業 (株)</td></tr> <tr><td>(23) A-Tech Solution (株)</td><td>(株) エーアントデイ</td></tr> <tr><td>(24) (株) GLOSIL</td><td>(株) ウチダ</td></tr> <tr><td>(25) (株) NK UCT</td><td>(株) 日平トヤマ</td></tr> <tr><td>(26) (株) RUMONE第一豆腐工場</td><td>コスモステンレス (株)</td></tr> <tr><td>(27) (株) RUMONE第二豆腐工場</td><td>大阪サントリー-金属工業株式会社</td></tr> <tr><td>(28) アールエスコリア (株)</td><td>朝日食品工業 (株)</td></tr> <tr><td>(29) (株) エスエイシー</td><td>朝日食品工業 (株)</td></tr> <tr><td>(30) ソウル東光 (株)</td><td>リンナイ精機 (株)</td></tr> <tr><td></td><td>三建工業 (株)</td></tr> <tr><td></td><td>東光 (株)</td></tr> </tbody> </table>	<派遣企業>	<受入企業>	(16) 中央MBB (株)	(株) 講登社	(17) 韓国OMRON電装 (株)	オムロン飯田 (株)	(18) 韓国大塚製薬 (株)	大塚製薬 (株)	(19) 韓国YOKOGAWA電機 (株)	横河電機 (株)	(20) 韓国技術 (株)	立公モールド工業 (株)	(21) 韓-金属工業 (株)	(株) 川島研究所	(22) ABD電子天秤 (株)	パーカー熱処理工業 (株)	(23) A-Tech Solution (株)	(株) エーアントデイ	(24) (株) GLOSIL	(株) ウチダ	(25) (株) NK UCT	(株) 日平トヤマ	(26) (株) RUMONE第一豆腐工場	コスモステンレス (株)	(27) (株) RUMONE第二豆腐工場	大阪サントリー-金属工業株式会社	(28) アールエスコリア (株)	朝日食品工業 (株)	(29) (株) エスエイシー	朝日食品工業 (株)	(30) ソウル東光 (株)	リンナイ精機 (株)		三建工業 (株)		東光 (株)
	<派遣企業>	<受入企業>																																																																						
(1) 韓国教育放送公社	(株) 東通																																																																							
(2) (株) WAYTEC	大同精工 (株)																																																																							
(3) 大邱文化放送 (株)	(株) コーズミュージック																																																																							
(4) 大同HI-LEX (株)	(株) ミキサーズ・ラボ																																																																							
(5) 東京エレクトロソコリア (株)	日本ケーブル・システム (株)																																																																							
(6) 東亜重工業 (株)	東京エレクトロン (株)																																																																							
(7) 東西石油化学 (株)	ナブテスコ (株)																																																																							
(8) 東亜製薬 (株)	旭化成ケミカルズ (株)																																																																							
(9) (株) 東亜Entec	明徳薬 (株)																																																																							
(10) 三和電子工業 (株)	三菱重工業 (株)																																																																							
(11) 世元BKT (株)	日立金属 (株)																																																																							
(12) 愛敬化学 (株)	油研工業 (株)																																																																							
(13) 又永産業 (株)	ディーエイチ・マテリアル (株)																																																																							
(14) (株) 宇進機電	片山工業 (株)																																																																							
(15) (株) 宇進機電	(株) 東芝																																																																							
	(株) 東芝																																																																							
<派遣企業>	<受入企業>																																																																							
(16) 中央MBB (株)	(株) 講登社																																																																							
(17) 韓国OMRON電装 (株)	オムロン飯田 (株)																																																																							
(18) 韓国大塚製薬 (株)	大塚製薬 (株)																																																																							
(19) 韓国YOKOGAWA電機 (株)	横河電機 (株)																																																																							
(20) 韓国技術 (株)	立公モールド工業 (株)																																																																							
(21) 韓-金属工業 (株)	(株) 川島研究所																																																																							
(22) ABD電子天秤 (株)	パーカー熱処理工業 (株)																																																																							
(23) A-Tech Solution (株)	(株) エーアントデイ																																																																							
(24) (株) GLOSIL	(株) ウチダ																																																																							
(25) (株) NK UCT	(株) 日平トヤマ																																																																							
(26) (株) RUMONE第一豆腐工場	コスモステンレス (株)																																																																							
(27) (株) RUMONE第二豆腐工場	大阪サントリー-金属工業株式会社																																																																							
(28) アールエスコリア (株)	朝日食品工業 (株)																																																																							
(29) (株) エスエイシー	朝日食品工業 (株)																																																																							
(30) ソウル東光 (株)	リンナイ精機 (株)																																																																							
	三建工業 (株)																																																																							
	東光 (株)																																																																							
<p>4. 成果 等</p> <p>(1) 受入企業を事前訪問し、実習要領・安全対策などの周知徹底を図り、問題無く終了。</p> <p>(2) 高品質の追求姿勢、コストを掛けない改善、社員教育の充実、記録管理の徹底と活用、生産管理方式や改善発表会の定着など、日本企業の良い点を学び、帰国後業務に反映し一部成果を出している。また、多くの日本人や日本の文化・習慣等に触れ日本人の勤勉さと日本に対する理解を深めた。(2006.2.17 韓国で開催の評価会における実習生意見を総括)</p> <p style="text-align: right;">(株) スリーエーネットワークに事務局業務委託</p>																																																																								



## 2. 日韓自動車関連産業育成強化事業

事業名	(3) 成果普及事業 <span style="float: right;">【共同事業】</span>																																																																								
事業内容	<p>韓国の産業団地・地域全体の企業の育成を図る為に、生産性向上コンサルティングを過去10年間に亘り実施して来た。今年度は地域を固定せず全国より希望する企業を募集し、日本からの6技術分野の専門家6名を派遣し14社の企業の技術指導を実施した。本事業では各企業で指導した成果内容を普及させることを目的に、成果発表会を開催し、専門家より成果事例を参加企業35社に対し発表した。</p>																																																																								
実施状況	<p>1. 技術指導 実施概要          希望する企業の中から14社を選定し、6技術分野で延べ7週間実施した。          (1社当たり2日、1週間で2社実施)          実施期間：2005年5月～9月          (1) 1社に対し各2日の現場指導を実施。          (2) 専門家が夫々その専門性に応じて、生産性向上全般、技術改善を指導。          重点指導内容：①生産性向上の方法、②問題解決の手法、③機械設備の改善方法</p> <table border="1" data-bbox="323 864 1490 1431"> <thead> <tr> <th></th> <th>分野/専門家</th> <th>実施日</th> <th>実施企業</th> <th>所在地</th> <th>生産品目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>溶接技術/ 西武史</td> <td>5/30, 31 6/2, 3</td> <td>世元 光星精密</td> <td>陰城 牙山</td> <td>ディスクホール ドラムブレーキ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>プレス技術/ 辻秀志</td> <td>6/13, 14 6/16, 17</td> <td>ENA INDUST. 韓国 TECHPIA</td> <td>天安 富川</td> <td>自動車部品 (樹脂、ゴム) 電子部品、自動車部品</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>機械加工/ 梅原敏靖</td> <td>7/4, 5 7/7, 8</td> <td>韓国 EnE JASE</td> <td>牙山 慶州</td> <td>電子式注油機、LPG 充填機 自動変速機部品 (自動車)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>機械組立自動化/ 柴田力</td> <td>7/11, 12 7/14, 15</td> <td>正昊實業 NARA CORP.</td> <td>梁山 釜山</td> <td>BOLT COAT</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>射出成形/ 渋谷泰宏</td> <td>8/8, 9 8/11, 12</td> <td>PRIMA TECH DOM CO.)</td> <td>華城 仁川</td> <td>射出成形品 携帯電話ケース (樹脂成形)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>機械組立自動化/ 柴田力</td> <td>8/22, 23 8/25, 26</td> <td>LATTRON 貨泉機械工業</td> <td>大田 昌原</td> <td>NTS THERMISTOR, ハリスター 工作機械、エンジン部品</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>機械加工/ 三好紀臣</td> <td>9/5, 6 9/8, 9</td> <td>水上重工業 YANGHEN 機工</td> <td>華城 ソウル</td> <td>油圧ブレーカ INDEX DRIVE CAM</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 成果発表会          日時：2005年11月18日 (金) 10時～16時30分          (1) 成果事例発表  <table border="1" data-bbox="323 1568 834 1724"> <thead> <tr> <th></th> <th>成果事例</th> <th>専門家</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>溶接技術分野</td> <td>西武史</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>機械加工分野</td> <td>梅原敏靖</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>金属加工分野</td> <td>三好紀臣</td> </tr> </tbody> </table>         (2) 生産性向上セミナー  <table border="1" data-bbox="890 1568 1458 1724"> <thead> <tr> <th></th> <th>テーマ</th> <th>専門家</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>工場管理者の役割について</td> <td>渋谷泰宏</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>設備自動化について</td> <td>柴田力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>経営に役立つ ISO9000 の考え方</td> <td>辻秀志</td> </tr> </tbody> </table>         (3) 技術相談会          1社当たり30分の短い時間ながら、6分野の専門家と16社との熱心な質疑、指導がなされた。</p> <p>3. 成果等          14社の技術指導とそこから選ばれた成果事例の発表を通じて、成果内容を普及させるとの当初目的は十分達成できた。成果発表会には韓国企業35名が終日熱心に聴講した。</p> <p style="text-align: right;">(株)明幸フォーラムに事務局業務委託</p>		分野/専門家	実施日	実施企業	所在地	生産品目	1	溶接技術/ 西武史	5/30, 31 6/2, 3	世元 光星精密	陰城 牙山	ディスクホール ドラムブレーキ	2	プレス技術/ 辻秀志	6/13, 14 6/16, 17	ENA INDUST. 韓国 TECHPIA	天安 富川	自動車部品 (樹脂、ゴム) 電子部品、自動車部品	3	機械加工/ 梅原敏靖	7/4, 5 7/7, 8	韓国 EnE JASE	牙山 慶州	電子式注油機、LPG 充填機 自動変速機部品 (自動車)	4	機械組立自動化/ 柴田力	7/11, 12 7/14, 15	正昊實業 NARA CORP.	梁山 釜山	BOLT COAT	5	射出成形/ 渋谷泰宏	8/8, 9 8/11, 12	PRIMA TECH DOM CO.)	華城 仁川	射出成形品 携帯電話ケース (樹脂成形)	6	機械組立自動化/ 柴田力	8/22, 23 8/25, 26	LATTRON 貨泉機械工業	大田 昌原	NTS THERMISTOR, ハリスター 工作機械、エンジン部品	7	機械加工/ 三好紀臣	9/5, 6 9/8, 9	水上重工業 YANGHEN 機工	華城 ソウル	油圧ブレーカ INDEX DRIVE CAM		成果事例	専門家	1	溶接技術分野	西武史	2	機械加工分野	梅原敏靖	3	金属加工分野	三好紀臣		テーマ	専門家	1	工場管理者の役割について	渋谷泰宏	2	設備自動化について	柴田力	3	経営に役立つ ISO9000 の考え方	辻秀志
	分野/専門家	実施日	実施企業	所在地	生産品目																																																																				
1	溶接技術/ 西武史	5/30, 31 6/2, 3	世元 光星精密	陰城 牙山	ディスクホール ドラムブレーキ																																																																				
2	プレス技術/ 辻秀志	6/13, 14 6/16, 17	ENA INDUST. 韓国 TECHPIA	天安 富川	自動車部品 (樹脂、ゴム) 電子部品、自動車部品																																																																				
3	機械加工/ 梅原敏靖	7/4, 5 7/7, 8	韓国 EnE JASE	牙山 慶州	電子式注油機、LPG 充填機 自動変速機部品 (自動車)																																																																				
4	機械組立自動化/ 柴田力	7/11, 12 7/14, 15	正昊實業 NARA CORP.	梁山 釜山	BOLT COAT																																																																				
5	射出成形/ 渋谷泰宏	8/8, 9 8/11, 12	PRIMA TECH DOM CO.)	華城 仁川	射出成形品 携帯電話ケース (樹脂成形)																																																																				
6	機械組立自動化/ 柴田力	8/22, 23 8/25, 26	LATTRON 貨泉機械工業	大田 昌原	NTS THERMISTOR, ハリスター 工作機械、エンジン部品																																																																				
7	機械加工/ 三好紀臣	9/5, 6 9/8, 9	水上重工業 YANGHEN 機工	華城 ソウル	油圧ブレーカ INDEX DRIVE CAM																																																																				
	成果事例	専門家																																																																							
1	溶接技術分野	西武史																																																																							
2	機械加工分野	梅原敏靖																																																																							
3	金属加工分野	三好紀臣																																																																							
	テーマ	専門家																																																																							
1	工場管理者の役割について	渋谷泰宏																																																																							
2	設備自動化について	柴田力																																																																							
3	経営に役立つ ISO9000 の考え方	辻秀志																																																																							

## 3. 調査・広報事業

事業名	(1) 委託調査																		
事業内容	<p>韓国産業振興のための基礎調査、分析及び報告書作成或いは特定業種分野の問題研究。本年度の対象分野は韓国の自動車産業界とし、関連産業も含めた問題点・改善点並びに提言をまとめた。</p> <p>また、前年度に引続き韓国経営研究会（ソウルジャパンクラブ-SJC-主催）を支援、及び日韓両国の貿易促進、特に部品・素材分野の相互補完関係強化、協力関係の促進を図るため企業情報のデータベースを作成。</p> <p>従って本年度は予定の5項目の調査のうち下記4項目（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ）の調査実施となった。（報告書は日韓両国政府及び関係機関、関係企業等に配布）</p>																		
実施状況	<p>(1) 委託調査</p> <p>Ⅰ. 日韓国交正常化 40 周年記念関連シンポジウムに参画・支援。 国交正常化 40 周年を記念し、同時に日韓 FTA 締結推進を念頭にソウルにて開催されたシンポジウムに財団理事長がメッセージを送りシンポジウム運営の支援を行った。</p> <p>Ⅱ. 委託調査「韓国自動車産業関連の問題点及び改善点・提言」 内 容： 1. 自動車産業及び自動車部品産業の発展経緯 2. 日本から見た韓国自動車部品メーカーの問題点と対策 3. 提言と参考事項 (社)日韓経済協会に委託</p> <p>Ⅲ. 2005 年韓国経営研究会（ソウルジャパンクラブ-SJC-加入企業による経営研究会実施を委託、年合計 7 回実施の会合記録） 2005 年韓国経営研究会の内容（以下 2 種類合計 7 回を実施）</p> <p>1. 経営研究朝食会 主 催：日韓産業技術協力財団及び SJC 経営委員会 方 式：韓国の経済・産業界のオピニオンリーダーなど、主題に相応しい講師を招き、講義と討議を通じ在韓日本人経営者の韓国産業・経済等に関する学習の場を開発・運営する。</p> <table border="1" data-bbox="475 1279 1310 1503"> <thead> <tr> <th></th> <th>講演テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回朝食会</td> <td>アジア共生への道を考える</td> </tr> <tr> <td>第 2 回朝食会</td> <td>韓国市場での日本企業の対応</td> </tr> <tr> <td>第 3 回朝食会</td> <td>企業の社会的責任</td> </tr> <tr> <td>第 4 回朝食会</td> <td>三星電子の躍進と「失われた 10 年」</td> </tr> <tr> <td>第 5 回朝食会</td> <td>韓国経済これでいいのか</td> </tr> </tbody> </table> <p>2. 韓国企業経営研究会 主 催：日韓産業技術協力財団及び SJC 経営委員会 内 容：韓国での日系企業マネジメント事例報告（数名／回）とパネル討論。事例には韓国企業や韓国人経営者を講師として招くよう努力し、より幅広い議論を行う。また、一部プログラムでは韓国人幹部にも出席を求め、多角的な議論を行う。</p> <table border="1" data-bbox="475 1715 1310 1827"> <thead> <tr> <th></th> <th>講演テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第 1 回経営研究会</td> <td>週 40 時間制に対する経営の対応</td> </tr> <tr> <td>第 2 回経営研究会</td> <td>企業立地と企業経営</td> </tr> </tbody> </table> <p>(株)野村総合研究所ソウル支店に委託</p> <p>Ⅳ. 日韓部品素材分野データベース作成 日韓部品素材企業情報のデータベースを作成することになり、第一ステップとして日本側 75 社、韓国側 344 社の企業情報を CD-ROM 及び冊子としてとりまとめた。3 月には協力企業に配布した。3 年を目途に企業数を増やしていく計画である。 (株)ジェービスに業務委託</p>		講演テーマ	第 1 回朝食会	アジア共生への道を考える	第 2 回朝食会	韓国市場での日本企業の対応	第 3 回朝食会	企業の社会的責任	第 4 回朝食会	三星電子の躍進と「失われた 10 年」	第 5 回朝食会	韓国経済これでいいのか		講演テーマ	第 1 回経営研究会	週 40 時間制に対する経営の対応	第 2 回経営研究会	企業立地と企業経営
	講演テーマ																		
第 1 回朝食会	アジア共生への道を考える																		
第 2 回朝食会	韓国市場での日本企業の対応																		
第 3 回朝食会	企業の社会的責任																		
第 4 回朝食会	三星電子の躍進と「失われた 10 年」																		
第 5 回朝食会	韓国経済これでいいのか																		
	講演テーマ																		
第 1 回経営研究会	週 40 時間制に対する経営の対応																		
第 2 回経営研究会	企業立地と企業経営																		

### 3. 調査・広報事業

事業名	(2) 財団ホームページ充実化・パンフレット作成
事業内容	財団パンフレットの更新、既存のホームページの充実及び更新等を通じて、財団事業に関する情報をPRしていく。
実施状況	<p>日韓財団の「ホームページ (HP)」のより一層の充実を図り、随時新しい活動内容を情報開示すると共に、基幹データを整理した。</p> <p>財団の実績及び成果事例、各種事業報告書、決算書等もアップデートし、掲載した。</p> <p>また、商談会の案内をHPに掲載して参加企業を公募したり、産業交流ミッションで訪日する韓国側の企業を掲載等、財団事業活動のPRに貢献した。</p> <p>入札に関して財団事業の運営事務局業務委託の案内、及び選定結果を掲載した。</p> <p>各事業終了時には概要報告など、タイムリーに掲載できるように努めた。</p>

## V. 日韓両財団「連絡協議会」及び「幹事会」の開催

1992年6月に日韓両国政府間で合意された「日韓貿易不均衡是正等のための具体的実践計画」の中で両国の「産業技術協力財団」が協力して業務を実施していくよう連絡協議会を設置することが定められており、その下部機関として幹事会を設け、必要により随時協議することとなっている。

## 1. 第12回連絡協議会は下記のとおり開催された。

日 時：2005年4月15日（金）

場 所：ソウル 新羅ホテル

出席者：

（日本側）		（韓国側）	
委 員 長	瀬戸 雄三 理事長	委 員 長	趙錫來 理事長
委 員	渡里杉一郎 副理事長	委 員	朴世英 理事
〃	秋山 富一 〃	〃	李春林 〃
委員代理	飯島 英胤 〃	〃	玄明官 〃
〃	桜井 健司 〃	〃	金熙勇 〃
委 員	成田 洋助 専務理事	特別参加	金相廈 〃
		委 員	許南整 専務理事

朝食・意見交換

(1) 両国の経済協力及び財団事業の活性化について

(2) その他

（なお、第13回の連絡協議会は2006年5月26日（金）札幌にて開催された。）

## 2. 第13回連絡協議会幹事会は下記の通り開催された。

日 時：2005年6月28日（火）

場 所：当財団会議室

出席者：

（日本側）	
主 査	成田 洋助 日韓産業技術協力財団
委 員	山崎 弘 〃
〃	宮原 照夫 〃
〃	讃井 善郎 〃
〃	三池 壽博 〃
〃	杉山 茂夫 〃
Observer	倉光 秀彰 外務省 アジア大洋州局 日韓経済室長

〃	藤村 新	〃	日韓経済室 研究調査員
〃	山邊 伸二	〃	外務事務官
〃	伊集院健夫	経済産業省 通商政策局 北東アジア課	課長補佐
〃	草薙 清子	〃	韓国・北朝鮮三係長

## (韓国側)

代表委員	許 南 整	韓日産業・技術協力財団	専務理事
委 員	宋 成 基	韓日財団 企画管理 TEAM	TEAM 長
〃	金 汝 種	韓日財団 産業技術 TEAM	TEAM 長
〃	金 彰 彬	韓日財団 産業技術 TEAM	次長
Observer	全 濟 九	産業資源部 亞洲協力課	事務官
〃	徐 ka Ram	駐日大韓民国大使館	書記官
〃	趙 佑 洲	中小企業振興公団 日本事務所	課長
幹 事	張 震 旭	韓日財団 企画管理 TEAM	課長

## 議 題：

- (1) 2005年度共同事業推進状況説明
- (2) 2006年度共同事業を含む事業計画方針説明
- (3) 上記事業計画及び説明に伴う協議

## 3. 第13回連絡協議会幹事会実務者会議は下記の通り開催された。

日 時：2005年10月21日（金）

場 所：韓日財団 会議室

## 出席者：

## (日本側)

責任幹事	成田 洋助	日韓産業技術協力財団	
委 員	山崎 弘	〃	
〃	宮原 照夫	〃	
〃	讃井 善郎	〃	
〃	三池 壽博	〃	
〃	杉山 茂夫	〃	
Observer	瀬尾 正嗣	駐大韓民国日本国大使館	参事官
〃	草薙 清子	経済産業省 通商政策局 北東アジア課	係長

## (韓国側)

代表委員	許 南 整	韓日産業・技術協力財団	専務理事
委 員	宋 成 基	韓日財団 日本研究 CENTER	事務局長
〃	金 汝 種	韓日財団 産業技術 TEAM	TEAM 長

	〃	張 震 旭	韓日財団 企画管理 TEAM	TEAM 長
	〃	金 彰 彬	韓日財団 産業技術 TEAM	次長
Observer		全 濟 九	産業資源部 亜洲協力課	書記官
	〃	金 珉 澈	外交通商部 FTA 政策課	外務官
	〃	張 徳 福	中小企業振興公団	TEAM 長
幹 事		金 瑋 瑋	韓日財団 産業技術 TEAM	課長

議 題：

- (1) 2005年度共同事業推進現況
- (2) 2006年度事業計画説明
- (3) 2006年度共同事業協議
- (4) その他事項協議

以 上

## VI. 事務局人事

平成17年 4月 1日 三池壽博 事業第三部長に就任（川崎重工業(株)より出向）  
平成18年 3月 1日 北林 均 事業第一部長に就任（アサヒビール(株)より出向）  
30日 宮原照夫 前事業第一部長（出向元アサヒビール(株)に帰任）

以上

## VII. 財 団 日 誌 抜 粋

月 日	事 項
平成17年	
4月4日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三池部長(川崎重工業(株)より出向)が事業第三部長に就任、初出社。</li> <li>・山崎常務理事・讃井部長が5月18日開催予定のセミナー講師依頼及び打合せのため都内大田区の(株)サヤカを訪問。</li> </ul>
6日(水)	成田専務理事・山崎常務理事が4月15日にソウルで開催される経済人会議 結団式に出席。〔於：経団連会館〕
8日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北九州市 産業学術振興局 地域産業部 小林部長、貿易振興課 副島係長・岩田主査が打合せのため来訪。(山崎常務理事・三池部長が対応)</li> <li>・成田専務理事が(財)北九州国際技術協力協会 前理事長 故水野勲氏のお別れ会に出席のため出張。〔於：北九州市八幡、千草ホテル〕</li> </ul>
10日(日)	讃井部長が「成果普及事業」1次事前調査のため韓国に出張。(16日まで)
12日(火)	「品質管理セミナー」「次世代経営者交流事業」事務局業者選定入札説明会を実施。〔於：当財団会議室〕
13日(水)	杉山部長が委託先監査のため(財)北九州国際技術協力協会(KITA)へ出張。(14日まで)
14日(木)	成田専務理事・山崎常務理事が「第37回日韓・韓日経済人会議」及び「第12回日韓・韓日両財団連絡協議会」に出席のためソウルに出張。〔於：新羅ホテル、16日まで〕
17日(日)	山崎常務理事が「成果普及事業」2次事前調査実施。(韓国国内、25日まで)
19日(火)	「産業技術交流促進ミッション」事務局業者選定入札説明会を実施。〔於：当財団会議室〕
20日(水)	公認会計士の板垣氏の監査。(22日までの3日間)
21日(木)	「成果普及事業」事務局業者選定再入札説明会を実施。〔於：当財団会議室〕
22日(金)	三池部長が「第6回北陸・韓国経済交流会議」実務者検討会議に出席のため福井市に出張。
5月9日(月)	成田専務理事・三池部長が「先進技術交流事業」参加者公募選出のための面談及び協議のためソウルに出張。(13日まで)
16日(月)	成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長・三池部長・杉山部長が商談会及びセミナーに出席。〔於：品川プリンスホテル、18日まで〕
20日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)野村総合研究所 ソウル支店 前支店長 米山氏が後任の小野氏、高田氏と共に来訪。(成田専務理事・杉山部長が対応)</li> <li>・中国経済産業局 産業部 産業振興課 森下課長補佐・坪原経済産業事務官が打合せのため来訪。(成田専務理事・三池部長が対応)</li> </ul>
29日(日)	山崎常務理事が「成果普及事業」実施のため韓国に出張。(6月4日まで)



月 日	事 項
3 1 日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が(社)日韓経済協会 第1回理事会に出席。</li> <li>・成田専務理事・三池部長が川崎重工業(株) 田崎社長を訪問。</li> </ul>
6 月 1 日 (水)	成田専務理事が打合せのため在日本国大韓民国大使館 徐錫崇商務官を訪問。
3 日 (金)	成田専務理事・杉山部長が決算説明のため(社)日本貿易会 高梨専務理事を訪問。
6 日 (月)	成田専務理事が打合せのため(財)大田区産業振興協会 山田専務理事を訪問。
9 日 (木)	成田専務理事が(社)日韓経済協会 第21回通常会員総会に出席。
1 0 日 (金)	三池部長が「第6回北陸・韓国経済交流会議」実務者検討会議に出席のため福井市に出張。
1 3 日 (月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日刊工業新聞社が取材のため瀬戸理事長を訪問。(成田専務理事同席)</li> <li>・宮原部長が「品質管理セミナー」事前説明会・結団式主宰及び韓国科学財団(KOSEF)との打合せのため韓国に出張。(16日まで)</li> </ul>
1 4 日 (火)	成田専務理事・山崎常務理事が大韓貿易投資振興公社(KOTRA) 投資説明会に出席。〔於：帝国ホテル〕
1 5 日 (水)	讚井部長が「成果普及事業」プレス・金型分野実施のため韓国に出張。(18日まで)
1 9 日 (日)	「品質管理セミナー」開講、29名の韓国人技術者を対象に7月2日まで大磯プリンスホテルにて。
2 1 日 (火)	成田専務理事・山崎常務理事・宮原部長が開講式に出席。(20日まで) 平成17年度第1回理事会及び第1回評議員会を開催。
	<p style="text-align: center;">〔於：当財団会議室〕</p> <p style="margin-left: 40px;">第1回理事会</p> <p style="margin-left: 80px;">決議事項</p> <p style="margin-left: 120px;">第1号議案 平成16年度事業報告(案)承認の件</p> <p style="margin-left: 120px;">第2号議案 平成16年度収支決算報告(案)承認の件</p> <p style="margin-left: 120px;">第3号議案 評議員選出承認の件</p> <p style="margin-left: 40px;">第1回評議員会</p> <p style="margin-left: 80px;">決議事項</p> <p style="margin-left: 120px;">第1号議案 理事選任承認の件</p> <p style="margin-left: 40px;">報告事項</p> <p style="margin-left: 80px;">①平成16年度事業報告</p> <p style="margin-left: 80px;">②平成16年度収支決算報告</p>
2 3 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)野村総合研究所 高田氏、三菱商事(株) 藤原氏・市瀬氏が IC タグ打合せのため来訪。(成田専務理事・山崎常務理事が対応)</li> <li>・北九州市 環境局 環境経済部 環境国際協力室 溝口室長が来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長が対応)</li> </ul>

月 日	事 項
27日(月)	中部経済産業局 地域経済部 国際課 中島課長が打合せのため来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・三池部長が対応)
28日(火)	<p>第13回連絡協議会幹事会を開催。(韓日財団との共同開催)</p> <p>〔於：当財団会議室〕</p> <p>※2005年度共同事業推進状況説明</p> <p>※2006年度共同事業を含む事業計画方針説明</p> <p>※上記事業計画及び説明に伴う協議</p> <p>出席者</p> <p>(日本側) 成田専務理事、山崎常務理事、宮原部長、讃井部長、三池部長、杉山部長の他、オブザーバーとして外務省 アジア大洋州局 日韓経済室 倉光室長・藤村研究調査員・山邊外務事務官、経済産業省 通商政策局 北東アジア課 伊集院課長補佐・草薙係長。</p> <p>(韓国側) 金汝種チーム長、宋成基チーム長、金彰彬次長、張震旭課長、オブザーバーとして産業資源部 亜洲協力課 全濟九事務官、駐日大韓民国大使館 徐가람書記官、中小企業振興公団 日本事務所 趙佑洲課長。</p>
7月1日(金)	成田専務理事・山崎常務理事・宮原部長が「品質管理セミナー」修了式及び送別会に出席。〔於：大磯プリンスホテル〕
	29名の受講生(韓国人技術者)は7月2日に帰国。
6日(水)	山崎常務理事が「成果普及事業」機械加工分野実施のため韓国・慶州に出張。(9日まで)
10日(日)	<p>「次世代経営者交流事業」訪日団一行15名受入れ。(16日まで、宮原部長が全行程同行)</p> <p>夕方開催された講演会及び意見交換会に成田専務理事出席。〔於：品川プリンスホテル〕</p>
11日(月)	成田専務理事が「次世代経営者交流事業」訪日団の工場見学((株)前川製作所 守谷工場・アサヒビール(株)茨城工場)に同行。
12日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三池部長が「北陸・韓国経済交流会議」実行委員会に出席のため福井に出張。</li> <li>・成田専務理事が「次世代経営者交流事業」訪日団のパネルディスカッションに出席。〔於：東京青年会議所〕</li> </ul> <p>その後の次世代経営者交流会に成田専務理事・山崎常務理事が出席。</p>
13日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成17年度第2回評議員会及び第2回理事会を開催。</li> </ul> <p>〔於：当財団会議室〕</p> <p>第2回評議員会 審議事項</p>

月 日	事 項
	<p style="text-align: center;">①平成17年度事業計画一部変更について</p> <p style="text-align: center;">第2回理事会</p> <p style="text-align: center;">決議事項</p> <p style="text-align: center;">第1号議案 平成17年度事業計画一部変更の件</p>
19日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 讚井部長が「成果普及事業」機械組立自動化分野実施のため韓国・釜山に出張。(16日まで)</li> <li>成田専務理事・三池部長が「第6回北陸・韓国経済交流会議」出席のため韓国・慶州に出張。(22日まで)</li> </ul>
8月2日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>杉山部長が「技術者専門セミナー」事前オリエンテーション出席及び韓国中小企業振興公団との打合せのため韓国・安山に出張。(4日まで)</li> </ul>
3日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮原部長が「第19回産業技術交流促進ミッション」受入準備のため神戸、大阪に出張。(4日まで)</li> </ul>
6日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事・山崎常務理事が(社)日韓経済協会「第5回日韓高校生交流キャンプ」オープニングセレモニーに出席。〔於：新光証券羽田研修センター〕</li> </ul>
9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事・山崎常務理事・讚井部長・大本主任が(社)日韓経済協会「第5回日韓高校生交流キャンプ」結果プレゼンテーション参観。〔於：新光証券羽田研修センター〕</li> </ul>
10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>讚井部長が「成果普及事業」射出成形分野実施のため韓国・仁川に出張。(13日まで)</li> </ul>
22日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成田専務理事・杉山部長が「技術者専門セミナー」開講式出席のため北九州市に出張。〔於：北九州プリンスホテル、23日まで〕</li> <li>・ 山崎常務理事・三池部長が「先進技術交流事業」開講式に出席。〔於：日本教育会館内〕</li> </ul>
23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成田専務理事が経済産業省職員に同行して韓国中南部の中小企業及び工業団地現場視察のため出張。(27日まで)</li> <li>・ 三池部長が「先進技術交流事業」導入教育に出席。(26日まで)</li> </ul>
24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山崎常務理事が「成果普及事業」機械組立・自動化分野実施のため韓国・昌原(貨泉機械工業(株))に出張。(27日まで)</li> </ul>
28日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>杉山部長が「第6回中小企業技術革新大展」支援参加のため韓国・大邱に出張。(9月2日まで)</li> </ul>
30日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事が韓国国会議員に同行して神奈川県庁、神奈川県産業技術総合研究所、かながわサイエンスパーク(KSP)及び(財)神奈川中小企業センターを視察。</li> </ul>
31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山崎常務理事が韓国国会議員に同行して大田区工場及び大田区産業プラザを視察。</li> </ul>

月 日	事 項
9月6日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸理事長主催の韓国国会議員との夕食懇談会に成田専務理事・山崎常務理事が出席。〔於：品川プリンスホテル〕</li> <li>・成田専務理事・山崎常務理事が大韓貿易投資振興公社(KOTRA)主催 対韓投資説明会に出席。〔於：ホテルニューオータニ〕</li> </ul>
7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・讚井部長が堀場製作所 最高顧問 堀場雅夫氏の講演聴講のため京都に出張。讚井部長が「成果普及事業」機械加工分野実施のためソウル(YANGHEUN機工)に出張。(10日まで)</li> </ul>
16日(金)	成田専務理事・山崎常務理事が日刊工業新聞社のシンポジウムに出席。〔於：ホテルニューオータニ〕
21日(水)	成田専務理事が(社)日韓経済協会 理事会に出席。〔於：協会会議室〕
22日(木)	成田専務理事・大本主任が日韓財閥のサステイナビリティ研究会主催 日韓財閥シンポジウム(東京大学大学院 服部民夫教授関与)に出席。〔於：学士会館(神田)〕
26日(月)	宮原部長が「第19回日韓産業技術交流促進ミッション」主宰のため福井、兵庫、大阪に出張。(30日まで)
27日(火)	成田専務理事が「第19回日韓産業技術交流促進ミッション」受入れ交流会出席のため福井、大阪に出張。(30日まで) その後「技術者専門セミナー」閉講式及び送別会出席のため北九州市に出張。(10月1日まで)
30日(金)	杉山部長が「技術者専門セミナー」閉講式及び送別会出席のため北九州市に出張。(10月1日まで)
10月3日(月)	成田専務理事・山崎常務理事が韓国大使館主催 開天節レセプションに出席。〔於：ホテルニューオータニ〕
10日(月)	三池部長が(財)韓日産業・技術協力財団 宋成基部長・金璋課長と「先進技術交流事業」の業務打合せ。〔於：リフレフォーラム〕
11日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎常務理事が「九州・韓国経済交流会議」出席のため韓国・堤川及びソウルに出張。(14日まで)</li> <li>・三池部長が「先進技術交流事業」韓国中堅技術者実習受入企業中間訪問及び中間報告会出席のため、名古屋、大阪に出張。(13日まで)</li> </ul>
14日(金)	三池部長が「先進技術交流事業」中間報告会に出席。〔於：リフレフォーラム〕
20日(木)	<p>第13回連絡協議会幹事会を開催。(韓日財団との共同開催) 〔於：韓日財団会議室〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※2005年度 両国財団 共同事業 推進現況</li> <li>※2006年度 両国財団 事業計画 説明</li> <li>※2006年度 両国財団 共同事業 協議</li> </ul>

月 日	事 項
	<p>※その他事項 協議 出席者 (日本側) 成田専務理事、山崎常務理事、宮原部長、讃井部長、三池部長、杉山部長の他、オブザーバーとして、在大韓民国日本国大使館瀬尾参事官、経済産業省 通商政策局 北東アジア課 草薙係長。 (韓国側) 許専務理事、金汝種部長、宋成基部長、金彰彬次長、金正鎬次長、劉課長、金璋課長、オブザーバーとして、産業資源部 亜洲協力課 全済九書記官、外交通商部 東北亜通商課 李基成外務官。</p>
24日(月)	公認会計士の板垣氏の監査。(25日までの2日間)
26日(水)	成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長・杉山部長が商談会及びセミナー主催のためソウルに出張。〔於：ロッテホテルソウル、29日まで〕
11月2日 (水)	成田専務理事が東京ガス(株) 故渡邊宏特別顧問のお別れ会に出席。〔於：ホテルニューオータニ〕
7日(月)	成田専務理事・山崎常務理事・三池部長が OECD(経済協力開発機構) 東京センター11月講演会に参加。〔テーマ：OECD から見た韓国経済の現状と課題、於：日本記者クラブ会議室(内幸町)〕
11日(金)	成田専務理事・山崎常務理事・三池部長が「先進技術交流事業」報告会及び送別会に出席。〔於：日本教育会館内〕
15日(火)	宮原部長が「次世代経営者交流事業」訪韓団の事前調査及び「理工系大学院生研究支援事業」事前説明会主宰のため韓国・ソウル、大田、釜山に出張。(19日まで)
17日(木)	成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長が「成果普及事業」実施のためソウルに出張。〔於：ロッテホテルソウル、19日まで〕
21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が「第7回日韓・韓日産業貿易会議」に出席のため京都に出張。〔於：京都全日空ホテル、23日まで〕</li> <li>・杉山部長が「技術者専門セミナー」成果発表会に出席のため韓国・釜山、慶山に出張。(25日まで)</li> </ul>
28日(月)	<p>平成17年度第3回評議員会開催。 〔於：当財団会議室〕</p> <p>第3回評議員会 決議事項 第1号議案 理事選任承認の件</p>
12月2日 (金)	山崎常務理事が(社)日韓経済協会 政策委員会に出席。
4日(日)	宮原部長が「次世代経営者交流事業」第6回訪韓団15名を引率して渡韓。(10日まで)

月 日	事 項
7日 (水)	成田専務理事・山崎常務理事が大田広域市主催、韓貿易投資振興公社(KOTRA)主管 投資環境説明会・相談会に出席。〔於：ホテルニューオータニ〕
22日 (木)	・成田専務理事が(社)日韓経済協会 平成17年度第4回理事会に出席。 ・山崎常務理事が(財)韓日産業・技術協力財団の単独事業である「韓日理工系産業技術キャンプ」報告会に出席。〔於：銀座キャピタルホテル〕
28日 (水)	仕事締め。 理事長主催忘年会。〔協会と合同、於：ダイヤモンドホテル〕
平成18年	
1月5日 (木)	仕事始め。挨拶廻り。
10日 (火)	「理工系大学院生研究支援事業」受講生20名来日。
11日 (火)	成田専務理事・山崎常務理事・宮原部長が「理工系大学院生研究支援事業」開講式及び歓迎会に出席。〔於：つくば二の宮ハウス〕
16日 (月)	三池部長が「北陸・韓国経済交流会議」第17回実行委員会に出席のため福井市に出張。〔於：福井県国際交流会館〕
19日 (木)	・成田専務理事・山崎常務理事が日刊工業新聞社 新春講演会に出席。〔於：ホテルグランドパレス〕 ・讚井部長が「ベンチャーフェア2006」セミナー聴講。〔於：東京国際フォーラム〕
27日 (金)	・京都府 商工部 経済交流・貿易室 今井副室長が打合せのため来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・三池部長が対応) ・福井県 産業労働部 企業立地・マーケット戦略課 国際経済・マーケット戦略グループ 藤井企画主査が来訪。(宮原部長が対応) ・石川県 商工労働部 産業政策課 北村課長補佐と(財)石川県産業創出支援機構 産業振興部 尾井産業情報課長が来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・三池部長が対応)
2月3日 (金)	成田専務理事・山崎常務理事が大韓民国財務省主催「2006韓国経済説明会」に出席。〔於：帝国ホテル〕
8日 (水)	三池部長が「第8回九州・韓国産業技術交流ミッション」参加のためソウルに出張。(10日まで)
9日 (木)	成田専務理事・山崎常務理事・宮原部長が「岡山県外資系企業誘致セミナー」に出席。〔於：ジェトロ本部5階〕
12日 (日)	成田専務理事・山崎常務理事が(社)日韓経済協会「第6回日韓高校生交流キャンプ」発表会他に出席。〔於：新光証券(株)羽田研修センター〕
14日 (火)	成田専務理事が(社)日韓経済協会 平成17年度第5回理事会に出席。〔於：協会会議室〕

月 日	事 項
1 6 日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三池部長が「先進技術交流事業」評価会に出席のためソウルに出張。(19日まで) その後「中国(島根)・韓国ビジネスマッチング」に出席のためソウルから松江に移動。(成田専務理事と合流、21日まで)</li> <li>・杉山部長が「日韓部品素材分野データベース作成」の打合せのため(財)韓日産業・技術協力財団を訪問。(18日まで)</li> </ul>
1 7 日 (金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成田専務理事が(社)日韓経済協会 政策委員会に出席。〔於：経団連会館〕</li> <li>・成田専務理事・山崎常務理事が瀬戸理事長に来年度事業計画を報告。</li> <li>・成田専務理事・宮原部長が「理工系大学院生研究支援事業」閉講式及び修了式に出席。〔於：つくば二の宮ハウス〕</li> <li>・山崎常務理事が大田区主催「十周年記念のつどい」に出席。〔於：大田区産業プラザ〕</li> </ul>
1 9 日 (日)	成田専務理事が「中国(島根)・韓国ビジネスマッチング」に出席のため松江に出張。(三池部長と合流、21日まで)
2 2 日 (水)	中部経済産業局 地域経済部 国際課 中島課長が打合せのため来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・三池部長が対応)
2 3 日 (木)	成田専務理事・山崎常務理事が瀬戸理事長(協会会長)主催 財団・協会役員新春懇親会に出席。〔於：交詢社ビル〕
2 4 日 (金)	野村総合研究所 ソウル支店 小野支店長・佐々木氏が報告書納入のため来訪。(成田専務理事が対応)
3 月 1 日 (水)	「第6回日韓中小企業商談会」入札説明会を実施。〔於：当財団会議室、成田専務理事・山崎常務理事・杉山部長・讃井部長・大本主任・梶山職員が出席〕
3 日 (金)	「2006年度品質管理セミナー」入札説明会を実施。〔於：当財団会議室、宮原部長・北林部長(3月1日付、アサヒビール(株)より出向・宮原部長後任)・杉山部長・大本主任が出席〕
8 日 (水)	宮原部長が引継ぎのため後任の北林部長と近畿経済産業局、大阪府、クリエイション・コア東大阪、大垣精工(株)及び中部経済産業局を訪問。(9日まで)
1 5 日 (水)	宮原部長が引継ぎのため北林部長と(財)韓日産業・技術協力財団及び大田市の韓国科学財団(KOSEF)を訪問。(17日まで)
1 7 日 (金)	成田専務理事・山崎常務理事・讃井部長が「2006年度技術普及事業」専門家紹介依頼のため(社)日本技術士会を訪問。
2 0 日 (月)	近畿経済産業局 通商部 小村国際事業課長・丸岡係長が打合せのため来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・三池部長が対応)
2 2 日 (水)	(財)石川県産業創出支援機構 産業振興部 尾井産業情報課長が来訪。(三池部長が対応)
2 3 日 (木)	・杉山部長が「公益法人制度改革に関する説明会」に出席。〔於：三田共用会議

24日 (金)	<p>所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>成田専務理事が(社)日韓経済協会 平成17年度第6回理事会に出席。平成17年度第4回評議員会及び第3回理事会を開催。</li> </ul> <p>[於：当財団会議室]</p> <p>第4回評議員会</p> <p>議決事項</p> <p>第1号議案 理事選任承認の件</p> <p>審議事項</p> <p>①平成18年度事業計画(案)の件</p> <p>②平成18年度収支予算(案)の件</p> <p>報告事項</p> <p>①財団基本財産運用の件</p> <p>第3回理事会</p> <p>議決事項</p> <p>第1号議案 平成18年度事業計画(案)承認の件</p> <p>第2号議案 平成18年度収支予算(案)承認の件</p> <p>第3号議案 副理事長互選(案)の件</p> <p>報告事項</p> <p>①財団基本財産運用の件</p>
29日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「2006年度日韓産業技術交流促進ミッション訪日団受入事業」入札説明会を実施。[於：当財団会議室、山崎常務理事・宮原部長・北林部長・杉山部長・大本主任が出席]</li> <li>(社)科学技術国際交流センター(JISTEC) 酒井常務が来訪。(宮原部長・北林部長が対応)</li> </ul>
30日 (木)	<p>九州経済産業局 国際部 大串国際事業課長が来訪。(成田専務理事・山崎常務理事・三池部長が対応)</p>
31日 (金)	<p>成田専務理事・山崎常務理事が第4回評議員会及び第3回理事会の報告のため経済産業省を訪問。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>



